

一般質問

移住・定住の推進
施策について



鈴木 央 議員

質問… 今までの取り組みによる成果についてお伺いします。
答弁… 平成28年9月、市内本町地内に大田原市移住・定住サポートセンターを開設しました。相談窓口の設置、移住セミナーの実施、移住体験モニターツアーの実施、UIJターン定住者交流会の開催などの事業を実施して移住・定住の促進に取り組んでいます。相談件数の実績は

平成28年度に85件、平成29年度に253件でした。又、東京都千代田区の、ふるさと回帰支援センターを通じて栃木県を移住希望先として相談された方に本市移住・定住サポートセンターを紹介して頂いています。サポートセンターを介した移住・定住の実績として平成28年度に2世帯3名、平成29年度に6世帯20名の方が本市に移住致しまし

た。本年度は、現在相談中の方が6世帯13名いらっしゃいます。このうち1世帯2名の方が6月中に移住を予定しています。このような観点から本市の移住・定住施策は着実に成果を上げていくと考えています。

中学校「特別の教科
道徳」について



秋山 幸子 議員

質問… 2019年度から、中学校の道徳が教科化され、今年度はその教科書の採択が行われます。「特別の教科・道徳」では、どのような方法で生徒たちの評価を行うのか伺います。
答弁… 道徳科の授業で見られた各児童生徒の成長の様子を記述により評価することになります。
質問… 教科書展示について、どのように考えているのか伺います。

答弁… 展示場所については、県教育委員会が設置するものであり、市はその要請に応じて、湯津上庁舎図書室としております。
質問… 文部科学省はホームページで「教科書の採択に関わる留意事項」について通知を出しております。「教科書採択に対し、より広い視野から意見を反映させる為、保護者などの意見を踏まえた調査研究の充実も重要。

教科書展示会は、教員や保護者などが足を運びやすくする為、各学校を訪問して行う移動展示会や図書室、公民館などでの展示会の充実が重要」とあります。展示会場に記述内容を制限しない用紙や、意見箱の用意などが出来ないものか伺います。
答弁… 教科書の展示については、本市では準備はまだしておりませんので、お答え出来ません。